

広報

# ぴっぷ

4

April  
2017  
No.703



# 平成29年度町政執行方針

3月6日に招集された第1回町議会定例会で、伊藤喜代志町長と谷義則教育長が町政、教育行政の方針を示しましたので、その概要をお知らせします。



伊藤 喜代志 町長

わが町比布町は、災害や事件、事故の少ない住みやすい町です。昨年は比布駅舎がオープンし、また50年目のシーズンを迎えたびっぷスキー場に、センターハウス「スキップ」が完成しました。

にぎわいを取り戻しつつある一方で、人口の減少が止まらず、少子高齢の課題を抱えています。課題解決に向け、

町民のみならず、協力しながら、しっかりと前を見据え確実に歩みを進めることが大切です。

第11次まちづくり計画及び比布町人口ビジョン、比布町まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿い、よりにぎわいのある、安全で心豊かに暮らすことのできる町にするため、本年度の町政執行方針について

で申し上げます。

地の力！

大地と人がともに生きるまち

本年の主食用米作付配分は、30年産からの行政による生産調整廃止も考慮し、農業関係団体の方針に基づいた生産数量目標値を作付面積として前年とほぼ同じ面積を設定しました。生産数量目標の達成に向け、水田機能の維持を図りながら、比布産米総体の需要を確保していきます。

30年産以降の米政策改革を見据え、収益力の向上に向けて農協では米の乾燥調整施設の改修を計画しています。高品質米の販売や生産コストの低減など、農業者の所得拡大が期待でき、米産地としてさらなる確立に向け、施設の改修を支援するとともに、既存

事業の見直しや各種支援策の検討と適切な事務の執行に向けて、農業対策室のあり方を協議します。

農地流動化支援策として、近年加速化する農地の権利移動を踏まえ、引き続き独自対策を講じ、人・農地プランに基づく農地中間管理事業との整合や他事業での取り組みも含め、新たな方向性を関係機関と協議します。

農作業受託組織が行う作業の効率化やコスト低減などの取り組みに支援します。

また、青果物は農協が取り組むハウス助成事業と連携し、引き続き作付拡大に向けて支援します。特に、いちごの再振興を目指し、農業者や農協をはじめ試験研究機関とも連携し、再生に向けた体制を構築するなど、作付維持、拡大への方策を検討します。

花き、畜産についても、各振興会の活動を支援します。環境保全活動組織については、共同活動として取り組んでいる草刈りや水路の補修、田んぼダムなどに引き続き支援します。

中山間地域等直接支払制度は、耕作放棄地の発生防止や

営農の継続に向けた多様な事業を展開しています。また、環境保全型農業直接支払制度に対しても、国や道との連携のもと引き続き支援します。

道営事業として施工中の「比布中央第1地区」及び「比布中央第2地区」の円滑な事業推進に努め、早期完了に向けて関係機関へ働きかけるとともに、農家負担率の軽減に向けた支援を継続します。

また、11区地区を中心とした拓進地区は28年度に計画業務を終え、今後は早期の事業採択に向けて、拓進地区促進期成会と連携し、農協が取り組む農業基盤整備促進事業とも連携を図ります。

次代を担う農業青年が増えつつあります。懇談会や農業後継者等研修事業などを展開し、つながりを深め、課題解決などに努めます。あわせて、新たに農業を志す青年層へ適切な情報を提供し、就農に向けて支援します。なお、青年農業者の居住支援策は、一定の役割を果たしましたので廃止します。

旭川森林組合との連携を強め、27年度から取り組んでいる森林整備地域活動支援交付

金事業を推進し、森林施業実施の基盤となる作業路網整備など、効率的な森林整備に努めます。また、GISシステムを導入して森林台帳を整備し、所有者が正確な森林情報を得られるよう、31年度の公表に向けて事務を進めます。

商工業は依然として極めて厳しい状況が続いています。比布町小規模企業振興条例により商工業に対し支援をす

とともに、「ご当地特産品開発支援事業補助」を継続し、地域経済の活性化と本町のさらなるイメージアップを図ります。

また、商工会会員などの声に耳を傾け、事業者への金融対策、店舗増改築など本町の実態に合わせた支援内容へと見直し、事業者の投資意欲の向上や新規創業者の発掘に努めます。

町内では、子育て中の町民の働く場に対する要望があるにも関わらず、町内事業者の多くは、深刻な人手不足に悩んでいるという雇用のミスマッチが生じています。商工会などと連携し、働く場の確保に取り組みます。

本年、新たに2戸のいちご

狩り農園が開園する見込みです。夏期における観光客の増加に向け、施設整備や苗代などに對する支援策を講じ、作付面積や受入れ人数の拡大を図ります。

グリーンパークは、大会の開催と団体客誘致に向け、遊湯びつぷとの連携を図ります。

びつぷスキー場は町内をはじめ町外、道外からも多く来場しています。29年シーズンは、28年度に実施したアンケート調査を基に、お客さまがより楽しめるプランを検討するとともに、広大なゲレン

デやパウダースノーの魅力を発信し、安全に楽しめるスキー場運営を目指します。交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びつぷ」は、指定管理者による最善の努力のもとで営業されています。指定管理者と定期的に協議の場を設け、情報の共有と連携を深めるとともに、町民還元分として宿泊には1千円を、日帰り宴会プランには5百円をそれぞれ支援し、町民の利用を促進します。

良佳村エリアは、年間延べ20万人もの観光客が訪れる本

町観光の中心エリアです。28

年度にはスキップが完成し、びつぷスキー場リニューアル元年として新たなスタートを切りました。遊湯びつぷを含む良佳村事業は、開業から20

年目を迎えようとしています。施設の老朽化も進み、「遊び」の選択肢も変化のない状況です。エリア全体の課題を確認し、にぎわいのある観光施設となるよう、良佳村エリアの再整備に向けた計画策定を進めます。

### 絆の力！ 互いに支え合えるまち

本格的な超高齢社会が到来し、本町の高齢化率も40%に到達しました。新たな生活支援体制と基盤となる町民主体の組織づくりとして、地域包括ケアシステムの構築を目指

し、社会福祉協議会の体制強化と生活助け合い協議会「びつぷの和」を支援しながら、町民自らが描くふれあいのネットワークづくりに努めます。

また、門口除雪サービスや町内移送サービス事業びつぷクを実施し、今後もニーズの

把握と課題を見極めた支援に努めます。

高齢化の進展とともに、介護保険制度利用者の増加と保険料の上昇が見込まれます。地域主体のふまねつと運動をはじめ、健康体操や予防教室など各種介護予防事業の充実を図ります。また、認知症対策として、オレンジプランを基調としながら、相談支援など対策を強化します。

保健事業は、町民の健康を守ることを第一に、保健師、栄養士による訪問活動を重点的に取り組み、疾病の早期発見、治療を目指します。健康

マイレージ事業を継続し、健康意識の高揚と特定健康診査の受診率向上、未受診者への受診勧奨を働きかけます。

妊婦健診の無料化や乳幼児健診、不妊治療費助成など母子保健の充実に努めます。また、いちごっこヘルスアップ健診事業を実施し、成長期に望ましい健康生活リズム、食習慣を促進し、将来を担う子どもたちの健やかな成長を支えます。

びつぷクリニックは本町に欠くことのできない医療機関です。特に、入院病棟では厳

しい経営状況にありますが、入院患者と家族をはじめ、町民に必要な不可欠な施設存続のために経営改善対策を講じます。また、医療機器については十分な保守点検をし、生命を守る安全な医療提供のために適正な導入を支援します。本年度も新生児とお母さんへ誕生を祝い記念品をプレゼントします。また、高校生までの医療費の実質無料化や各種ワクチン接種費用の一部助成、多子家庭への子どもすこやか手当など、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ります。

保育支援として、子育て支援センター子どもの広場の開催、社会福祉法人大悲会くるみ保育園や母子通園センター、関係機関と連携しながら円滑な入所、特別支援など適切なサポートに努めます。

障がい者福祉については、近隣4町で共同設置する上川中部基幹相談支援センター「きたよん」を拠点に、支援体制の充実やサービスの安定供給に努め、障がいを持つ人が偏見や差別なく主体的に社会参加ができるよう、理解と権利擁護の促進に努めます。



介護保険事業については、介護保険利用者とサービス給付が今後増加する傾向を踏まえ、適切な介護サービスのあり方を議論し、地域包括ケアシステムの構築へ向け、地域包括支援センターと一体となり、介護予防の充実と住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりを目指します。

国民健康保険事業は、保健師の訪問活動とともに医療費高騰の分析や適正化対策に取り組み、健康診査、保健指導、各種検診受診を促進し、医療費抑制を図り、適切な事業運営に努めます。

なお、30年度から運営主体が北海道に移行します。後期高齢者医療制度を含め円滑な制度運用が図れるよう、情報提供をしながら適正な事務に努めます。

### 笑顔の力！ 安心・安全に暮らせるまち

昨年、台風や大雨により道内でも大きな被害が発生しました。災害はいつ、どんな形でおそってくるかわからないことを改めて認識をさせられました。これらの教訓を生か

し、災害発生の未然防止はもとより被害を最小限とするため、迅速かつ的確な対応が取れるよう比布町防災計画に基づき、さらなる体制整備に努めます。

町道は引き続き、身近な生活道路の改良を進めるとともに、パトロール巡視を行いながら、町道の適切な維持管理と安全確保に努めます。また、ガードケーブルの補修など安全、安心な道路環境を整備し、歩道の再整備やまちなみ景観に配慮した植樹、街路灯のLED化など人と環境にやさしく潤いのある道路づくりに努めます。

橋梁は、義務化となった点検業務を引き続き実施するとともに、ウツペツ9号橋など3橋の修繕工事と併せて、共栄橋の調査設計を行い、安全対策と長寿命化を進めます。

なお、国道39号比布大橋の改築、架替事業へは、地元である本町としてもできる限りの支援、協力を行います。

治水対策については、比布川及び蘭留川改修工事の事業促進と改修区間の延長を引き続き関係機関に要望し、集中豪雨などによる災害の未然防

止に向けて、河川の環境整備や道路排水の機能確保に努めます。

除雪事業については、国や北海道の関係機関、委託業者と十分連携しながら、迅速で良好な除排雪体制の整備を図り、冬期間における事故の防止と安全で快適な生活の確保に、より一層努めます。

本年度は老朽化した除雪トラックを更新し、きめ細かい作業体制とさらなる効率化に努めます。

町営住宅は、みどり町団地B棟の整備を進めるとともに、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、西町団地の屋上防水工事及び北団地の塗装工事を施工するなど既存団地の長寿命化を図ります。

28年度、移住、定住の中心的な受け皿として位置づけてきた「ふれあいタウンびつぷ」が完売し、宅建協会との連携事業では、6件の空き家の流動化が図られました。さらに商談中の物件もあり、購入者、事業者ともに制度が少しずつ浸透してきていると手応えを感じています。

28年度は、民間集合住宅の建設補助事業を実施し、結果

的に総合戦略の目標である5年で24戸が、1年で建設されました。これまで本町における居住政策は公営住宅を中心に進めてきましたが、今回の結果を踏まえ、さらなる民間活力の活用の可能性、公営住宅のあり方について関係各所と連携し、研究します。

本年度は、整備された移住、定住の受け皿を生かし、確実な移住、定住に結びつけるため、民間集合住宅に住む子育て世代に対する家賃補助の施策を講じます。なお、補助に際し、町内会への加入を要件として地域活動への参画を促し、民間集合住宅事業者が一定の役割を果たすなど入居者、事業者、そして行政がそれぞれの役割を果たしていく仕組みを考えています。

これらの方策にもしつかりと取り組みながら、人口の減少がある程度進むことも受け入れ、それでも活力があり、住みたい、住み続けたいと思える町とするよう努めます。

簡易水道事業は、施設の適切な維持管理に万全を期すとともに、老朽化した配水流量計室の電気、機械設備の更新をします。



下水道事業は污水管のカメラ調査を行い、管路の老朽化や健全度の判定調査を実施します。

なお、上下水道事業は28年度策定した経営戦略に基づき、事業の効率的な運営と経営の安定化に努めます。

消防行政は、大雪消防組合や近隣市町村との広域連携をさらに強化し、消防、防災、救急体制の充実を図ります。

また、消防団活動の必要性を啓発し、不足する団員確保に努めるとともに、研修や訓練の積み重ねを通して消防団の活性化を進めます。

交通安全については警察や交通安全指導員と連携して事故防止に努めるとともに、防犯対策として、特に特殊詐欺などの情報収集、提供を行い、犯罪の未然防止に努めます。

### 心の力！ 豊かな心が育つまち

国は、教育再生を最重要課題の一つと位置づけ、教育再生実行会議において、学校、家庭、地域の役割分担と教育力の充実及び子どもたちの自己肯定が低い現状を改善する

ための環境づくりに取り組んでいます。

人口減少の加速化、グローバル化の進展、情報通信技術の発達など、社会が急激に変化する今日、学校や児童生徒を取り巻く著しい環境の変化に伴い、学力や体力、いじめや生活習慣の問題など、学校だけでは解決できないさまざまな教育課題への対応が求められています。

本町が持続的に発展し、地方創生を実現していくためには、将来を担う心身ともに健やかで、たくましい人材育成が不可欠です。子どもたちがふるさと比布に誇りと愛着を持ち、その未来を考え、支えていける力を培うことができよう総合教育会議で策定した比布町教育大綱を基調に、教育委員会と緊密な連携を図り、本町の教育行政推進に全力で取り組みます。

教育行政の主要方針については、教育長の教育行政執行方針で述べられます。

### 人の力！ 住民のつながりで築くまち

町民のみなさまとともにま

ちづくりを進めるためには、まちの情報を集め、積極的に発信することが大切です。

広報紙、町民カレンダー、予算概要書を引き続き作成し、情報の提供に努めます。

広聴活動として、まちづくり懇談会、町長への手紙を実施し、行政への意見要望をいただくとともに、まちづくり出前講座を開催します。

防災情報や町の行事などは、防災行政無線によりお知らせするとともに、町ホームページをはじめ、フェイスブックやツイッター、ユーチューブなどの情報ツールを積極的に活用し、本町の魅力発信に努めます。また、昨年ブランドオープンした比布駅を情報の発信拠点、交流の場として活用し、多くのみなさまに愛される施設に育てていきます。

さらに本年度は、町民のみなさまが行政情報を得る手段に関するアンケート調査を実施し、より効果的な情報伝達手段の参考にします。

本町に縁のある地域や人々との交流は、情報の収集や郷土を見つめ直す良い機会です。友好交流提携を結んでい

る滋賀県湖南市をはじめ、東京、札幌、旭川の各同郷会とふるさと交流を進めます。

また、人生の門出を祝い、本町に関心を寄せてもらう一つの方策として、ブライダル総合サイト内の「まちキyun・ご当地婚姻届」に、本町のオリジナルデザインを掲載します。なお、デザインや特典内容などは、若手職員主体の政策会議で議論しているところです。

現在、旭川市を中心として定住自立圏構想の推進に取り組んでいます。こうした枠組みにとらわれることなく、各自自治体が自分たちの強みを生かしながら、協力し共存することができるよう、新たな連携事業も協議します。

行財政改革については、国の制度改正などによる事務量の増加とともに専門性も求められており、地方自治体の責任と負担は増加しています。他町から比較して、決して多くはない現状の職員数の中、職員それぞれが努力し、その職責を果たしています。しかし、地方創生の名のもと、さらなる効果的な施策の企画、立案が必要な時代でもあるこ

とから、本年度において行政機構を一部見直し、総務企画課内に「まちづくり推進室」を設け、時代に即した行政の推進に努めます。

本年の予算規模は一般会計が45億8千万円。28年度に比べて3億5千万円の増加となります。

地方交付税総額が、年々減少しており、今後も国の動向に注視が必要です。さらに自主財源である町税収入が、本町の基幹産業の農業所得の税収は米価をはじめとする農産物の価格動向に影響を受け、また国の農業政策の先が見えず、農業所得者の納税環境は非常に厳しい状況です。近年は滞納件数、滞納額が減少しています。今後も納税意識の

高揚と税の公平性、信頼を損なうことがないよう、上川滞納整理機構と連携しながら収納体制の向上に努めます。

なお、28年度から実施している家屋調査を本年度も継続調査するとともに、その結果をシステム化して、事務の適正化、効率化に努めます。

本町には、まだまだ大きな可能性があり、それを発揮するだけの力を秘めていると確信しています。比布町らしいまちづくりを実現するため、職員はもとより、町民のみならずさまにお知恵をいただきながら心豊かな比布町とするよう、町政執行に全力を尽くします。

以上申し上げ、町政執行方針とします。

## 教育行政執行方針

人口減少や少子高齢化の進行などによる経済、雇用情勢などの変化や、あらゆる分野において高度情報化やグローバル化が進展するなど、社会全体が変革の時代を迎え、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

ともにある学校づくりを目指すことなどを理念とした次期学習指導要領を3月に改訂しました。

比布町教育大綱の基本となる「比布町第11次まちづくり計画」に掲げる、「心の力！豊かな心が育つまち」を基調として、「次代を担う心豊かな子どもたちの育成」と「生涯学び元気に生きる心豊かな社会の実現」を目指して、町長との緊密な連携のもと、教育の中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地域に根ざした町民の信頼に応える教育行政を推進します。

### ▼学校教育

中央小学校では、学校目標「まなびあう子 みとめあう子 きたえあう子」の具現化と「子どもたちの笑顔」を目指します。本年度は『子どもたちの将来の幸せ』を願い、小中連携をさらに深め、心に届く指導、経験や体験を重視し「鍛える」という観点で、充実した教育活動に全力で取り組みます。

比布中学校では、重点目標を「自ら学び、意欲的に行動する生徒の育成」として、教



谷 義則 教育長

育目標である「進んで学ぶ生徒、思いやりにあふれる生徒、たくましく生きる生徒の育成」を目指します。そのため、小中連携をさらに進め、「確かな学力」「思いやりの心」「健康やかな体」のバランスを大切に「生きる力」を確実に育みます。

なお、本年4月の児童生徒数と学級編成予定は、中央小学校は10クラス（うち特別支援教室4クラス）、総児童数145人で新1年生は23人です。中学校は6クラス（うち特別支援教室3クラス）、総生徒数84人で新1年生は25人

の予定です。

「確かな学力」については、全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえた「学校改善プラン」に基づき、その成果と課題を分析し、実態に応じた授業の工夫改善や放課後、長期休業期間における補習授業など、子どもたち一人ひとりの習熟の程度に応じた学習指導の充実に努めるとともに、課題の解決と発見に向けて主体的、協働的に学ぶ学習「アクティブ・ラーニング」に取り組みます。

また、各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間な



ど、学校生活のさまざまな場面を通じての言語活動や、他者や社会との豊かな関係を築くためのコミュニケーション能力、将来の社会的、職業的自立に向け必要となる能力を育むキャリア教育、グローバル化に対応した英語教育などの充実を図るとともに、小中学校に教員用のタブレットを導入して、ICT（情報通信技術）を活用した教育効果の検証を進めます。

さらに、「家庭学習の手引き」や「生活リズムチェックシート」などの活用により、学校と家庭が連携して望ましい生活習慣や学習習慣の定着に努めます。

キャリア教育については、子どもたちが将来の社会的、職業的自立に向け、夢を実現させる意欲や主体的に進路を選択する能力を身につけることができるよう、小学校では生活科や社会科などのかかわりの中で、中学校では学校の学習と社会とを関連づけた職場体験などを通じて、子どもの発達段階に応じた望ましい社会性や勤労観、職業観を育む一貫性のある教育に努めます。

なお、中学3年生の首都圏修学旅行については、引き続き「君の夢プロジェクト推進事業」により、保護者負担の一部を助成します。

また、就学援助費の認定基準を引き上げるとともに、新たに必要保護世帯に準ずる世帯を対象に、高等学校などに就学する生徒の就学支援金として、「高校生等就学支援金支給制度」を創設して、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

特別支援教育については、各学校のコーディネーター教員を中心とした全校的な協力体制を図るとともに、各学校に引き続き支援員を配置して、きめ細かな学習支援に努めるなど、学校と家庭、各関係機関が相互に連携を深めながら、一貫した的確な指導、支援に取り組みます。

また、保育園や小中学校など関係機関で構成する「比布町教育支援委員会」による円滑な校種間の引き継ぎや、発達の遅れなどの早期発見、相談、研修体制などの充実に努めます。

次期学習指導要領では、外国語活動の導入や英語の教科

化など、グローバル化に対応した英語教育の充実が求められていることから、英語指導助手（ALT）を現行の短時間臨時雇用から民間派遣会社への委託に切り替え、一年を通して小学1年生から英語に慣れ親しませる教育活動や教員を対象とした研修会などを実施して、英語教育の充実を図ります。

「豊かな心」については、規範意識や基本的な倫理観を育む道徳教育、生命を大切に育む心や他人を思いやる心を育む人権教育、豊かな感性や表現力、創造力を育む読書活動、地域が有する教育資源や人材を生かした体験活動など、さまざまな関わりの中でふるさとを愛する心や柔軟な社会性、豊かな人間性を育む教育の充実に努めます。

30年度から正式教科となる道徳教育は、教育活動全体を通して、子どもの発達段階に応じて規範意識や倫理観を育みます。

いじめ問題については、学校における実態調査の実施や子どもたちが主体的にいじめについて考える取り組み、専門的知識を有するスクールカ

ウンセラの巡回相談などを継続実施しながら、各学校で定めた「いじめ防止基本方針」に基づき、未然防止や早期発見、早期解消に努めるなど、家庭や地域、関係機関と連携して、いじめ根絶に向けた取り組みを進めます。

「健やかな体」については、子どもたちが少年団活動や部活動などを通して運動やスポーツの楽しさを実感し、生涯にわたって運動に親しむことができるよう、望ましい運動習慣の定着を図ります。

なお、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえて、これまでの取り組みの成果と課題を明らかにし、体力、運動能力の向上に努めます。

食育については、栄養教諭を中心に学校ぐるみで食育指導を推進するとともに、「給食だより」の発行や「早寝早起朝ごはん」の啓発活動などを通じて、食に関する正しい知識や望ましい食習慣の定着を図ります。

学校給食は、食育における生きた教材として、子どもたちの食生活に大きな役割を担っています。子どもの発達



段階に即した献立など地元食  
材を活用し、安全、安心で栄  
養バランスのとれた給食の提  
供に努めます。なお、給食費  
を現行の私会計から公会計に  
移管して、学校給食の透明性  
を図ります。

また、子どもの虫歯予防対  
策として、小学校全学年と中  
学1年生を対象にフッ化物洗  
口を実施します。

信頼される学校づくりに向  
け、学校評議員や保護者アン  
ケートなどによる評価や意見  
を教育活動の工夫、改善に生  
かすとともに、一日体験入学  
などによる保育園や小学校、  
中学校との連携交流、「学校  
だより」の発行や地域参観、  
校内研究授業の公開などによ  
る学校の教育活動に関する積  
極的な情報提供などを行い、  
学校と家庭、地域が一体と  
なつて子どもたちを育ててい  
くという視点に立つて学校づ  
くりを進めてきました。

道指定の「小中連携・一貫  
教育実践事業」では、26年度  
から3年間、小中学校間の情  
報の共有化を図るとともに、  
義務教育9年間を見通した一  
貫性のある年間指導計画を策  
定し、通年乗り入れ授業や教

員相互の公開授業、小中合同  
の研修会、先進地視察研修な  
どを実施して、比布の子ども  
をもとに育てるという視点に  
立つた取り組みを進めてきま  
した。

これまでの各学校の歴史と  
伝統の中で培われてきた良き  
校風を受け継ぎながら、小中  
学校が目標を共有し、教職員  
が一体となつて学習指導や生  
徒指導などに組織的、系統的  
に取り組み、義務教育9年間  
の連続性のある指導を行つて  
います。

子どもたちが夢や希望を膨  
らませながら豊かで実りある  
学校生活を過ごす教育、人間  
性、社会性豊かな児童生徒の  
育成を目指して、小中学校の  
全教職員で構成する「比布町  
小中一貫教育推進協議会」に  
おいて、3年間の実践研究で  
の成果をもとに、小中一貫教  
育の研究、検討を進めます。

また、これまでの開かれた  
学校からさらに踏み込み、多  
くの保護者と地域が一体と  
なつて子どもたちを育む「地  
域とともにある学校」を目指  
して、「コミュニティ・スクー  
ル」の研究、検討を進めます。  
安全教育については、各学

校の危機管理マニュアルに基  
づき、交通安全指導や防犯、  
防災教育などを関係機関の協  
力を得ながら計画的に実施し  
て、子どもたちの安全確保と  
危機管理能力の向上に努める  
とともに、家庭、学校、地域  
が連携して、地域ぐるみで子  
どもたちを守り育てる体制づ  
くりを努めます。

スクールバスについては、  
安全を最優先した効率的な運  
行に努めます。

学校教育の充実として、比  
布町教育研究所での実践研究  
を中心に、校内研修や小中合  
同研修、近隣校との共同研究  
などの充実を図り、多様な教  
育課題に適切に対応できるよ  
う、教育の専門家としての教  
職員の資質、能力の向上に努  
めます。

比布中学校校舎及び武道場  
を中央小学校校舎に隣接し  
て、29年と30年の2か年で建  
設します。なお、現比布中学  
校関連施設の跡地利用は、庁  
内検討委員会で、具体的な活  
用方法を協議します。

#### ▼社会教育

社会教育は、公民館や図書  
館、スポーツ施設などの社会

教育施設を活用しながら、社  
会教育関係団体や指導者と連  
携して、それぞれの年代に応  
じた学習機会や学習情報を提  
供するなど、町民が生涯にわ  
たつて自主的、意欲的に芸術  
や文化に親しみ、心身ともに  
豊かで生きがいのある生活を  
送るうえで重要な役割を担っ  
ています。

「いつでも、どこでも、だ  
れでもが親しむことのできる  
生涯学習の推進」を基本方針  
とする「第5次比布町社会教  
育中期振興計画」に基づき、  
町民の多様なニーズに対応し  
た学びの機会や芸術、文化に  
親しむ機会の提供に努めると  
ともに、学んだ成果を地域活  
動に生かすことのできる環境  
づくりに努めます。

家庭において子どもが望ま  
しい生活習慣などを身につけ、  
心身の調和のとれた発達  
が図られるよう、親子のふれ  
あいを深める親子参加型の体  
験教室の開催やPTAなどと  
連携して家庭の教育力の向上  
と地域全体で子どもを守り育  
てる環境づくりに努めます。

家庭での学習習慣の定着を  
図るため、小学生は長期休業  
期間に元教員、大学生などの





ボランティアによる学習支援事業「ぶつくん寺子屋」、中学生は民間学習塾の講師による学力向上対策事業「チャレンジゼミ」を引き続き開講します。

また、保護者の仕事と子育ての両立を支援するとともに、放課後における児童の安全、安心な居場所として、放課後児童保育を引き続き実施します。

青少年の健全育成については、あいさつ運動や街頭巡視など、各関係機関や団体、学校などと連携して青少年の安全確保と非行、被害の未然防止に努めます。

また、子ども会活動や婦人会連絡協議会の主体的な活動を支援するとともに、世代間交流や自ら学ぶ楽しさを育む貴重な場となっている子ども体験教室を継続実施します。

君の夢プロジェクト推進事業は、一流選手による技術指導など、中学校の部活動を支援するとともに、中学3年生の首都圏修学旅行の保護者負担を一部助成して、生徒が夢や希望を膨らませながら、将来の生き方や進路を選択する能力を育成するなど、比布に

愛着と誇りの持てる事業として継続して実施します。

生涯学習については、白寿大学を引き続き開設し、主体的な活動を支援するとともに、多様化するニーズに応じた学習機会を提供するなど、健康で充実した学びを続け、交流やふれあいを深められる環境づくりに努めます。

公民館、分館は、地域の大切な交流の場です。今後ともニーズに応じた各種講座や教室を開設して活動の場を広げるとともに、情報紙「まなびつぷ」の充実と継続発行に努めます。

また、文化連盟と連携して、町民文化祭など地域に根ざした文化、芸術活動を支援するとともに、図書館や遊湯びつぷなどで作品展示の場を提供して、町民の文化活動に対する興味や関心を高め、文化、芸術の振興に努めます。

比布町図書館は、親子のふれあいや多くの町民の方に親しまれ利用していただけるよう、計画的な蔵書の整備に努めるとともに、ひろがり文庫によるよみかかせ会やブックスタート、多彩なイベントの実施や学校、保育園、児童ク

ラブなどへの図書宅配サービスの提供など、魅力ある図書館の運営に努めます。

また、図書館司書による学校図書室の蔵書の巡回整理を行うとともに、「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの望ましい読書習慣の定着を図ります。

#### ▼スポーツの振興

スポーツは、日々の暮らしに潤いを与え、体力の向上や健康の増進を促し、明るく豊かで活力のある社会を形成するうえで、重要な役割を果たしています。

体育協会をはじめ関係団体と連携を図り、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催します。また、中学校の部活動やスポーツ少年団、スポーツクラブジュニアの活動を積極的に支援するなど、スポーツに親しむ意識の啓発や環境の整備に努めます。

誰もが気軽に参加できる健康スポーツ教室や軽スポーツ大会を開催して、生涯スポーツの普及に努めるとともに、水泳教室、子ども体操教室、町民スキー・スノーボード教室を継続実施して、幼児期か

ら子どもたちが意欲的に運動に親しむ環境づくりに努めます。

冬季スポーツでは、スキークラブやスキー学校など関係者の協力のもと、町民スキー・スノーボード教室をはじめ、学校のスキー授業やスキー少年団活動を支援するとともに、町民スキー大会など各種大会を開催して、スキー場の利用促進と町民の冬季の健康増進を図り、親子や家族で楽しめる生涯スポーツとして振興に努めます。

体育施設は緊急性の高いものから計画的に施設の整備を行い、安全で楽しくスポーツに親しむことのできる施設運営に努めます。なお、本年度は町体育館の床の全面改修を行います。

終わりに、町民のみならずの信頼と負託に応えるため、町をはじめ学校、家庭、地域と連携を深め、本町教育の充実、発展のために最善の努力をすることを申し上げ、教育行政執行方針とします。

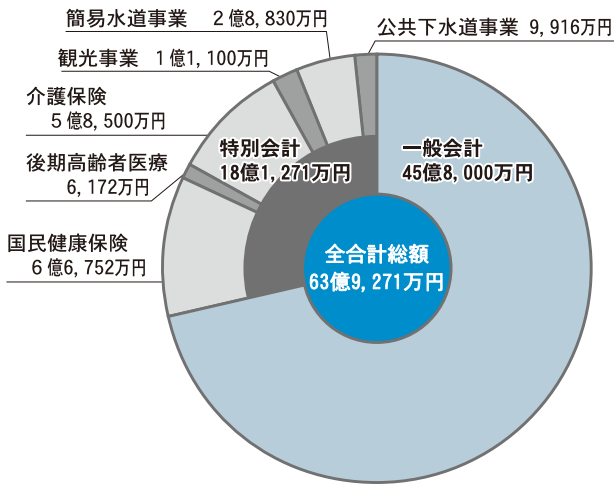
# 平成29年度予算 一般会計は8・27%増の45億8千万円

平成29年度の一般会計は、昨年より8・27%増の45億8千万円になりました。  
また、6つの特別会計の総額は18億1270万6千円で、昨年より5億8923万2千円減少し、一般会計をあわせて全会計の総額は63億9270万6千円で、昨年より2億3923万2千円減少しています。  
なお、各種事業の詳細は、今月号の広報紙に折り込んでいる「今年の予算の使い道」をご覧ください。

## ◆平成29年度全会計の状況◆

(単位：千円、%)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
一般会計	4,580,000	4,230,000	350,000	8.27
特別会計	1,812,706	2,401,938	△589,232	△24.53
国民健康保険	667,524	657,090	10,434	1.59
後期高齢者医療	61,720	61,945	△225	△0.36
介護保険	585,000	564,366	20,634	3.66
観光事業	111,000	778,912	△667,912	△85.75
簡易水道事業	288,303	242,911	45,392	18.69
公共下水道事業	99,159	96,714	2,445	2.53
歳出合計	6,392,706	6,631,938	△239,232	△3.61



## ◆町民一人当たりの借金(町債)額◆

約146万円 (昨年 約139万円)

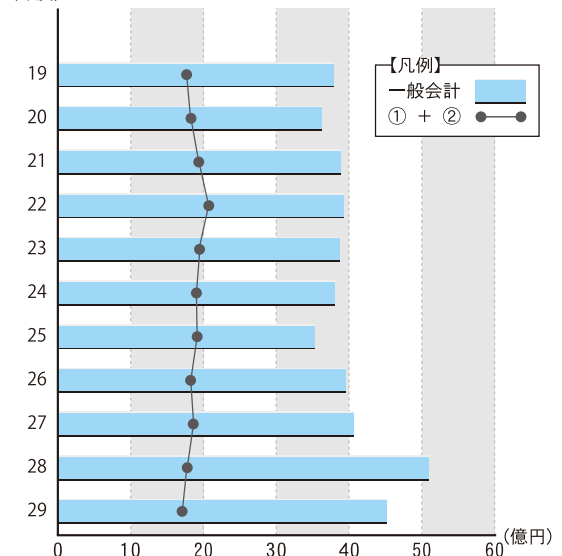
55億7,900万円 (昨年53億5,444万円)  
(平成28年度末全会計借金残高見込み額)  
÷  
3,810人  
(本年2月末現在住民基本台帳等登録数)

## ◆一般会計の交付税額等の推移◆

(単位：千円)

区分	一般会計	地方交付税①	臨時財政対策債②	①+②
平成19年度	3,789,782	1,661,213	108,203	1,769,416
平成20年度	3,621,180	1,727,941	101,346	1,829,287
平成21年度	3,885,866	1,778,382	157,288	1,935,670
平成22年度	3,927,651	1,893,972	179,232	2,073,204
平成23年度	3,867,323	1,820,020	126,621	1,946,641
平成24年度	3,799,099	1,787,625	116,266	1,903,891
平成25年度	3,533,603	1,799,029	114,690	1,913,719
平成26年度	3,959,953	1,714,921	109,031	1,823,952
平成27年度	4,059,882	1,751,868	108,584	1,860,452
平成28年度	5,091,663	1,761,982	84,255	1,846,237
平成29年度	4,580,000	1,699,000	88,000	1,787,000

(年度)



※「一般会計」欄は平成18年度から27年度までは歳入決算額、平成28年度は決算見込み額、平成29年度は当初予算額  
※「地方交付税①」欄は、「一般会計」のうちの普通交付税額と特別交付税額の合計

## ◆平成29年度一般会計の状況◆

### 【歳入】

(単位：千円、%)

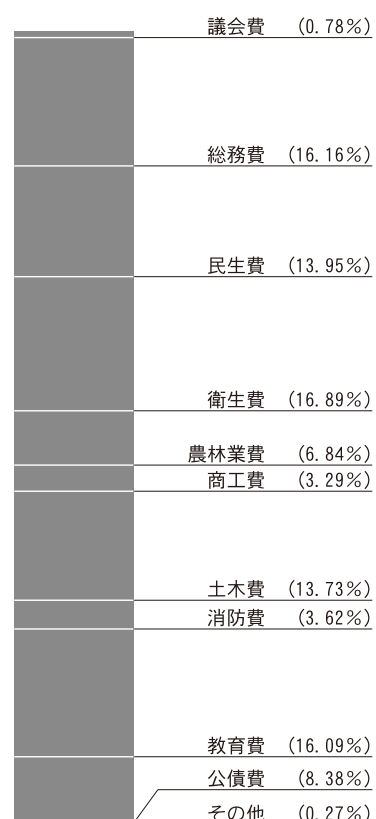
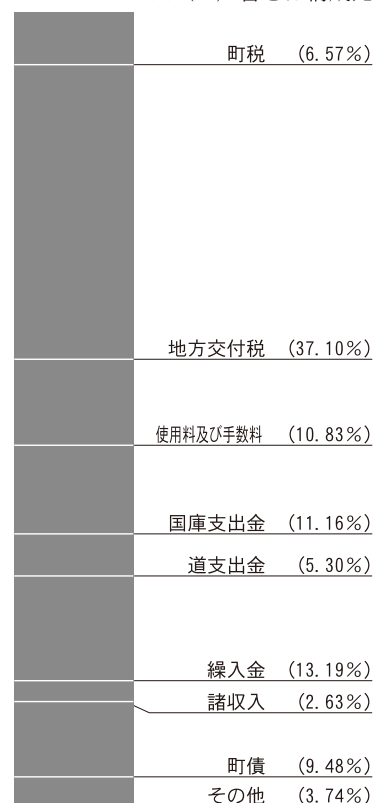
歳入区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
町 税	300,882	298,527	2,355	0.79
地方譲与税	47,100	48,500	△ 1,400	△ 2.89
利子割交付金	193	390	△ 197	△ 50.51
配当割交付金	860	1,204	△ 344	△ 28.57
株式等譲渡所得割交付金	400	620	△ 220	△ 35.48
地方消費税交付金	72,000	70,000	2,000	2.86
自動車取得税交付金	5,100	5,800	△ 700	△ 12.07
地方特例交付金	1,200	800	400	50.00
地方交付税	1,699,000	1,688,000	11,000	0.65
交通安全対策特別交付金	800	800	0	0
分担金及び負担金	16,238	16,144	94	0.58
使用料及び手数料	496,037	498,888	△ 2,851	△ 0.57
国庫支出金	510,985	339,255	171,730	50.62
道 支 出 金	242,885	234,502	8,383	3.57
財 産 収 入	7,784	5,735	2,049	35.73
寄 附 金	20	20	0	0
繰 入 金	604,143	605,764	△ 1,621	△ 0.27
繰 越 金	20,000	20,000	0	0
諸 収 入	120,373	101,751	18,622	18.30
町 債	434,000	293,300	140,700	47.97
歳入合計	4,580,000	4,230,000	350,000	8.27

### 【歳出】

(単位：千円、%)

歳出区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
議 会 費	35,756	36,594	△ 838	△ 2.29
総 務 費	740,102	787,373	△ 47,271	△ 6.00
民 生 費	638,780	630,827	7,953	1.26
衛 生 費	773,708	757,678	16,030	2.12
労 働 費	173	64	109	170.31
農 林 業 費	313,488	303,337	10,151	3.35
商 工 費	150,692	348,262	△ 197,570	△ 56.73
土 木 費	628,773	637,279	△ 8,506	△ 1.33
消 防 費	165,709	162,202	3,507	2.16
教 育 費	736,869	179,815	557,054	309.79
災害復旧費	20	20	0	0
公 債 費	383,930	374,549	9,381	2.50
予 備 費	12,000	12,000	0	0
歳出合計	4,580,000	4,230,000	350,000	8.27

※ ( ) 書きは構成比



# 第1回 町議会定例会 行政報告

第1回町議会定例会が平成29年3月6日に招集され、町長と教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。



## ◆町長行政一般報告

### 観光施設の利用状況

スキー場と遊湯びつぷの利用状況を報告します。

2月28日現在のびつぷスキー場のリフト収入は、6703万円で、前年同月に比べて923万1千円多い116.0%です。

今シーズンは、順調な積雪により12月1日からオープンすることができ、町内外から多くの来場がありました。

50回目のシーズンを記念したイベントも好評で、2月11日には、町内の若者が中心となって開催した「ジンギス感謝day」及び「雪男雪女決定戦」も盛況のうちに終了し

ました。

また、センターハウス「スキップ」では、スキーやスノーボードを楽しんだ後に休憩される方はもちろんのこと、お子さんがスキーを楽しむ姿を乳幼児とともに見守る保護者、お孫さんを連れられた方なども多く見られました。

このような状況から、スキップの完成は、リフト収入以外にも町内に多くの経済効果をもたらしているとともに、家族や友人同士のコミュニケーションを深める場としても有効に活用されているものと考えられます。

なお、オープン当初に不十分だったチケット売り場やトイレの位置など誘導表示を改善しました。来シーズンもびつぷスキー場に来場いただけるよう安全を第一に、居心地の良いスキー場をめざします。

交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びつぷ」の利用状況です。2月末までの入館者数は、対前年比94.0%と管理者から報告を受けています。

12月は、スキー場開場式当日からリフト運行が開始されたこともあり、入浴者数、宿

泊者数ともに前年を上回りました。1月の宿泊者数は前年を上回ったものの入浴者数は前年を下回り、2月は反対に入浴者数は前年を上回ったものの宿泊者数が前年を下回る状況となりました。また、スキーリフト券とセットにしている入浴サービス券の利用も減少しているようです。

宿泊については、スキー客が順調に推移しているほか、ビジネスプランが好調で、長期にわたる宿泊客が複数名おられますが、総体的には減少傾向が続いている厳しい状況です。

町では、スキー場及びびつぷパークとの連携を図るべく情報の提供や共有を深め



るとともに、さまざまな企画やプランを検討するなど、多くの方にご来館いただけるよう、また、民間活力が最大限発揮され、業績が向上されるよう、管理者との協議を進めます。

以上、行政一般報告とします。

## ◆教育行政一般報告

### 学校別の高校受験状況

平成29年3月の比布中学校卒業予定者の高校受験状況についてです。

中学校3年生の卒業予定者は31人で、全員が高校進学を希望しています。

学校別の受験状況は、旭川東高校4人、旭川北高校1人、旭川西高校3人、旭川南高校



2人、旭川永嶺高校1人、旭川商業高校1人、旭川工業高校3人、旭川農業高校5人、鷹栖高校1人、三笠高校2人、旭川工業高校(定時制)1人、美深高等養護学校1人、美深高等養護あいべつ校1人、旭川大学高校1人、旭川実業高校2人、クラーク記念国際高校1人、天理教校学園1人となっています。なお、推薦等で公立、私立合わせて14人がすでに合格内定をしています。

公立高校の合格発表は3月17日ですが、全員の合格を願

うところです。

以上、教育行政一般報告とします。

●町から提案した主な議案

○比布中学校校舎・武道場改築建築主体工事請負契約の締結

○比布町小規模企業振興条例の制定

○比布町税条例の一部を改正する条例

○平成28年度比布町一般会計補正予算(第9号)

○平成29年度比布町一般会計予算 ほか24件



第1回町議会臨時会

第1回町議会臨時会が平成29年2月7日に行われました。議決された議案は次のとおりです。

○平成28年度比布町一般会計補正予算(第8号)

第2回町議会臨時会

第2回町議会臨時会が平成29年3月30日に行われました。議決された議案は次のとおりです。

○平成29年度比布町一般会計補正予算(第1号)

上西 彰一さん

北海道産業貢献賞に輝く

上西彰一さん(4区)が北海道産業貢献賞(農業関係功労者)を受賞しました。

上西さんは、平成8年から町農業委員として21年の長きにわたり在職し、そのうち20年から会長職を務めています。

また、26年からは上川地方農業委員会連合会副会長として農地利用の適正化と農業生産の安定向上、担い手後継者の育成に尽力し、さらに規模拡大が求められる農業者の経営基盤安定のため、農地保有合理化事業を推進するなど、農地流動化に大きく貢献するとともに北海道農業の振興に貢献されました。

受賞に際し、上西さんは「受賞ができたのは歴代の農業委員の方々をはじめ、町民のみなさんのおかげです。農業者には厳しい状況ですが、次世代の農業を担う若手農業経営者が夢と希望を持てるように今後力尽くします」と述べました。





こい湯だな



# もてなしと 湯のやさしさで癒します。

## 比布町観光の玄関 良佳プラザ・遊湯ぴっぷ

長年にわたり、町の観光を支える「遊湯ぴっぷ」は多くの町民から愛される温泉宿である。平成10年にオープンして以来、ぴっぷ良佳村の中核施設として、たくさんのお客さまをもてなしてきた。

スキー場やパークゴルフ場、キャンプ場などアウトドア施設が隣接し、自然の中に立つ遊湯ぴっぷ。施設内の機能も充実しており、1階には自慢の人工温泉をはじめ食堂や町の特産品を取りそろえた売店、2階には研修室や宴会場、そして3階には、全25部屋の心安らぐ客室を完備。日帰り入浴や宿泊もさることながら、各種研修会や、地域の人の交流の場としても多く利用されている。

日帰り入浴は、町民はもちろんのこと、近隣市町からの利用者が多い一方で、宿泊客は遠方から訪れる人がほとんど。それもそのはず、旭川紋別自動車道・比布北インターチェンジのすぐそばにある同施設は、遠方からもアクセスがしやすく、札幌近郊や北見方面をはじめ道内各地から、スキーシーズンには、東京・千葉などの首都圏、遠くは九州からも宿泊に訪れるのだとか。そんな重要な町の観光資源である遊湯ぴっぷはまさに比布町観光の玄関である。

## これが遊湯のおもてなし

「なんといっても魅力はお湯です」と笑顔で話すのは同施設で支配人を務める早乙女満さん。

支配人  
早乙女 満さん



ジャグジー・打たせ湯・寝湯・高温湯・薬湯・庭園風呂など9つのお風呂を備える同施設。また、お湯には光明石こうみょうせきと呼ばれる鉱石が使われており、有効ミネラル成分を多く含んでいるため、神経痛やリウマチ、肩こり、腰痛、冷え性、疲労回復などさまざまな効能も。利用するご年配の方から「ここのお湯に入ると、帰り道はつえがいらぬよ(笑)」といわれたこともあると、早乙女さんは話します。

さらに遊湯ぴっぷには、大きな魅力が。それは「料理」。

「うちはね、料理にも自信があつて、お客様にとつても好評なんですよ」と早乙女さん。同施設で宿泊客に提供する懐石料理。その料理の質の高さに「この値段でこんなにおいしいものが食べれるの？」と驚く人も多いのだとか。

また、季節に合わせて町内で穫れる旬の食材を使うなど、比布ならではの



はの味覚を楽しんでももらえるように  
という思いをこめて食事を提供して  
いる。  
そして最後にもう一つ、同施設の  
スタッフが心がけているこだわりが  
ある。

「笑顔」。



「旅の疲れを癒すのは、温泉や料理、  
だけではありません。スタッフ一人  
ひとりの笑顔が不可欠なんです」と  
早乙女さんは話す。

「いらつしゃいませ！」

いつも明るい笑顔で、私たちが気  
持ち良く出迎えてくれるスタッフの  
みなさん。彼らの笑顔が遊湯びつぷ  
一番の癒しといっても過言ではない  
だろう。

私たちと一緒に  
「遊湯びつぷ」で働いてみませんか

スタッフ募集しています

- 内容 フロント業務
- 勤務 午後5時から午後10時まで (週5日)
- 勤務先 遊湯びつぷ (北7線16号)
- 時給 900円 ※交通費規定支給

問い合わせ 株式会社 荒尾

☎ 85-2142

自然いっぱいのお湯、おいしい料理に加え、  
スタッフの笑顔。心安らく最高のお  
もてなしがここで味わえる。  
そんな心も体も温まる遊湯びつぷ  
に、あなたも今一度、足を運んでみ  
てほしい。



遊湯びつぷでは、4月から「比布町民優待  
プラン」を始めます。町民の方が宴会に参  
加すると、団体全体が500円、宿泊なら  
1000円を還元します。詳しくは今月号  
の折込をご覧ください。

現在、スタッフは約40人！  
みんな仲良く働いていま  
すよ♪



比布町は「比布町で働く人」を応援します

# 忘れずに手続きを！ 国民健康保険

就職・転職・転入・転出など、異動の多い時期です。  
忘れずに国民健康保険（国保）の手続きを行ってください。



## 加入する方

国保は、いざというときに安心して病院にかかれるよう作られた制度で、加入者の収入などに応じてお金を出し合い、助け合うこと（相互扶助）を目的としています。

職場の健康保険に加入している方や生活保護を受けている方を除いて、すべての方が加入しなければなりません。

## 届出は14日以内に

加入の手続き以外にも、下の表に該当する方は、異動があった日から14日以内に必ず手続きをしてください。

◆加入の届け出が遅れると…  
○国保税をさかのぼって納めることとなります。

○届出までの医療費を全額自

己負担しなければならぬ場合があります。

## 手続きは世帯主が

国保では、世帯を一つの単位としています。そのため、手続きは、原則世帯主がまとめて行います。

世帯主が職場の健康保険に入っている場合、家族の誰かが国保に加入するとき（国保をやめるとき）は、世帯主が手続きを行うこととなります。

また、国保税の納税義務も世帯主が負います。

なお、世帯主が職場の健康保険に入っている場合は、国保上の世帯主（納税義務者）を家族のうちの国保加入者に変更することもできます。

詳しくは窓口でご相談ください。

## 修学のために転出する方

国保は、お住まいの市町村の国保に加入するのが原則ですが、大学・高校等に修学するため、他市区町村に住民登録をした被保険者で、転出前の世帯により生計が維持されているときは、世帯主からの届出によって、転出したあとも引き続き転出前の世帯の被保険者として保険証を使用できるという特例があります。

転出の手続きの際にお届けください。

## 【必要なもの】

保険証、印鑑、在学証明書  
または学生証（入学する場合は入学許可通知書など）

## ■問い合わせ

役場保健福祉課国保医療係

☎ 85・4804

## こんなときには届出を！

印鑑、加入される方のマイナンバーがわかるもの及び本人確認書類をご持参ください。

	届出が必要な場合	必要なもの	届出期限
国保に加入	転入してきたとき	転出証明書	その日から14日以内
	職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめた証明書	
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でなくなった証明書	
	子どもが生まれたとき	保険証・母子手帳	
	生活保護を受けなくなったとき	保護廃止通知書	
国保を脱退	転出するとき	保険証	その日から14日以内
	職場の健康保険に加入したとき	国保及び健康保険の保険証	
	職場の健康保険の被扶養者になったとき		
	死亡したとき	保険証・死亡を証明するもの	
その他	生活保護を受けたとき	保険証・保護決定通知書	必要になったとき
	町内で住所が変わったとき	保険証	
	世帯が分かれたり一緒になったりしたとき		
	国保上の世帯主を変更するとき	保険証・世帯主同意書	
	保険証を紛失したとき	本人であることが確認できるもの	
交通事故でケガをしたとき	交通事故証明書	速やかに	



自分の体を知るために！

# 健診を受けましょう

今年度の健診日程は下記のとおりです。健康管理のためにぜひ受診しましょう。  
申し込みの必要な健診は、4月に各地区の保健推進員が健診申込票を配布します。  
必要事項を記入して、お申し込みください。

■問い合わせ 保健センター ☎85 - 2555



## 平成 29 年度健診予定表

月	日	健診名	実施場所
7月	6、19日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
	11、12、13、14日 の4日間	総合特定健康診査 （生活習慣病予防健診、胃がん、肺がん、 大腸がん、前立腺がん検診）	保健センター
	25、26日	結核検診（年度内65歳以上の方）	各分館、保健センター
8月	8、28日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
8月 9月	31日 1日	エキノコックス症検査 （対象地区20～25区、新町）	保健センター
10月	18、19、20、23日 の4日間	総合特定健康診査 （生活習慣病予防健診、胃がん、肺がん、 大腸がん、前立腺がん検診）	保健センター
平成30年 1月	24日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）
2月	9日	子宮・乳がん検診（集団検診）	旭川がん検診センター（送迎バスが出ます）

### 個別がん検診

旭川がん検診センターで、個別がん検診を下記のとおり実施します。

がん検診対象者、自己負担額は集団がん検診と同じです。

#### ■検診実施期間

6月1日～平成30年2月28日

（旭川がん検診センターの休診日を除く）

#### ■申し込み方法

各自で旭川がん検診センターに電話でお申し込みください。（☎53 - 7111）

検診名	対象者	自己負担額
胃がん検診	30歳以上	1,500円
肺がん検診		500円
喀痰検査 ※肺がん検診受診者で 希望する方		500円
大腸がん検診		500円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	900円
子宮がん検診	20歳以上の女性	1,900円
乳がん検診	30歳以上の女性	49歳以下：2,200円 50歳以上：1,800円

### 任意予防接種の助成

任意予防接種の助成内容は下記のとおりです。

季節性インフルエンザについて詳しくは、接種実施期間が近くなりましたら、改めてご案内します。

また、その他の予防接種については、対象者に後日、ご案内します。

対象予防接種名	対象者	助成回数	自己負担額
おたふくかぜ	1歳～就学前	2回	1回 1,500円
ロタウイルス	ロタリックス：生後24週まで	2回	1回 3,000円
	ロタテック：生後32週まで	3回	1回 2,000円
風しん	①19歳以上で妊娠を予定 または希望している女性 ②妊娠している女性の夫	1回	1,500円

※おたふくかぜ、ロタウイルス、風しんの助成対象接種期間は4月1日～平成30年3月31日です

対象予防接種名	対象者	助成回数	助成上限額
季節性インフルエンザ	①6か月～高校3年生 年齢相当 ②妊婦	2回	1回 1,500円

※季節性インフルエンザの助成対象接種期間は10月1日～平成30年1月31日です。

なお、自己負担額は接種費用から助成上限額（1,500円）を差し引いた額となります。接種費用は各医療機関により金額が異なりますので、ご確認ください。

# 地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口です

町地域包括支援センター  
 (役場保健福祉課内) ☎85・2112 (直通)

## おかげさまで10周年

当センターは、町の高齢者の身近な相談窓口として、平成18年に開設し、10年が経過しました。少しずつみなさんに当センターのことを知っていただき、相談件数も増えています。

この10年間、地域の多くの方々と関わり、一人の人のまわりには、家族をはじめ、友人、民生委員、商店や金融機関など、たくさんの人や機関が存在し、地域でお互いに支え合いながら生活していることを改めて学びました。少子高齢化の深刻化や時代の変化に伴い、周りを少しだけ気にかけてお互いに助け合える「地域の力」が今、求められています。

私たちは、これからも多くの方々とながり、地域の一員として「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」に努めますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

## ご相談ください

本人、家族、近所の方、地域の関係機関などから相談を受け付けています。

となりの奥さん…最近元気がなくて心配…

お母さんが入院して、介護が必要って言われたけど、どうしたらいいのかな？



## 介護予防の取り組み

健康寿命の延伸を目的に、地域で集まり、楽しく体操できる場を作っています。町主催の事業のほか、町民主体の活動を応援しています。



## 認知症の方も安心して暮らせる地域を目指して

認知症の方とその家族の方への支援のほか、地域で認知症の知識を持って、認知症の方やご家族を温かく見守る「認知症サポーター」の養成を行っています。

安心して徘徊できるまちに  
 するために、まずは認知症  
 を知ろう！



## 町民みんなで考える 安心して暮らし続けられるまちづくり

少子高齢化の問題が最も深刻化する8年後を見据え、社会福祉協議会をはじめ、多くの町民、関係者有志で、「ぴっぷの和」を立ち上げました。ぴっぷの和では、改めてわが町を振り返りながら、まちづくりに必要なことを考えます。

元気の秘訣はいくつになっても誰かのために動き、役割を担うこと！



にっこりスマイルが目印♪

伊山 明美さん  
 ぴっぷクリニック・看護助手

患者さんが楽しそうに笑っているのを見ると私も楽しくなります。比布は町民の方も親切で、とても住みやすいので大好きです。見かけたら、ぜひ声をかけてくださいね♪

今月の介護  
 イクメン×イクジョ



これまで2年間、防災について学んできたね！これまでどんな災害が起きても大丈夫…！といたいところだけど、比布町は災害が少ないから、いざというときにみんなが避難行動をとれるか心配なんだ。僕が安心できるようになるまで、防災の勉強を続けよう！じゃあ早速、今月号は「**避難場所とは何か、どこにあるのか**」を勉強していこう！

### ○広域避難場所

地震や火災などの災害が発生した時に、一時的に避難するための安全で広い場所

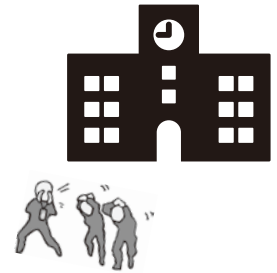
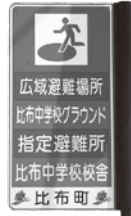
施設名	所在地
比布中学校グラウンド	北2線8号
中央小学校グラウンド	寿町4丁目1番1号
百年記念公園多目的広場	南町2丁目
東園広場	北2線13号
旧蘭留小学校グラウンド	北9線14号
南分館広場	基線2号

### ○指定避難所

災害等で住宅に住めなくなった時や、町から避難勧告や避難指示が発令された時に避難する屋内の施設

対象行政区	施設名
1・2・3・4・5・6区、西・南・新・緑町	体育館 農村環境改善センター
9・10・11・26区、寿町	中央小学校
7・8・12・13・14・15・16・17区	比布中学校
18・19・20・21・22・24・25区、蘭留町区	良佳プラザ遊湯びっぷ
東・北・中町	多目的室内運動場 (いちごアリーナ)

▼緑色の看板に要チェック



避難所の入り口には緑色の看板が立っているから、普段から場所を確認しておこう。夜中に避難するときは看板は見えづらいし、看板に頼らずに避難ができるよう避難所がどこにあるか覚えておこう！防災レンジャーとの約束だ！



■問い合わせ  
役場総務企画課生活安全係  
☎85-4801

## 子どもの広場 4月の行事予定

### \*子どもの広場\*

#### ■開催日■

月・水・金曜日：午前9時～正午・午後1時～3時

火・木曜日：午前9時～正午

■内容■ 入園前の親子を対象に、遊びや育児に関するの情報提供や保護者同士の交流の場として開催しています。予約は不要です。

### \*子育て相談\*

■開催日■ 子どもの広場開催中（随時）

■内容■ 保育士による子育て相談を行います。必要に応じて、保健師や栄養士も対応します。事前に予約が必要です。

※町民カレンダーに掲載しています。

### \*今月の行事\*

#### ■こいのぼりせいさく

4月21日（金）午前11時～正午

みんなでかわいいこいのぼりを作っちゃおう！

■問い合わせ■ 保健センター ☎85-2555



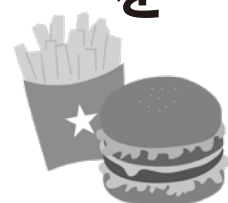
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 0歳児 教室 (バビーマッサージ)	6 お休み	7	8
9	10	11	12 1歳児 教室 (作業制のスライム作り)	13	14 壁画 (あおむし)	15
16	17	18	19 2歳児 教室 (作業制のスライム作り)	20 お休み	21 こいのぼり せいさく	22
23	24	25	26	27	28 家庭で できる 救急法	29 昭和の日
30						



第34話

生活習慣病を予防しよう!

# 高中性脂肪にご注意を



中性脂肪が高い

血液中に脂肪がいっぱい



中性脂肪は血管の動脈硬化を進め、**心筋梗塞**や**狭心症**、**脳梗塞**の最大の危険因子といわれています。

## 高中性脂肪の原因は？



- ① 脂質の摂取量が多い
- ② 砂糖類の摂取量が多い
- ③ アルコールの摂取量が多い
- ④ 遅い時間に多めの夕食や夜食を習慣的にとる

油脂類のとり方が多くなると、中性脂肪がたくさん体内に入ることになります。揚げ物や炒め物以外でも、調味料で使うマヨネーズやごまの使い過ぎにも気をつけましょう。(表1)

表1) 油脂食品の含有量

油の種類	含有量
サラダ油・オリーブごま油	100%
マヨネーズ	75%
マーガリン・バター	80%
ごま	50%

## 高中性脂肪を改善しよう

① 中性脂肪は、使われないと脂肪細胞にためられま

す。1日の摂取量の目安は、砂糖は20g、ビールは大瓶1本、日本酒は1合までです。

性脂肪は作られます。飲み物やお菓子、果物などからとっている糖分、ビールや日本酒などのアルコールは、肝臓で中性脂肪を作る材料になります。特にアルコールは中性脂肪をどんどん作るので、量が多かったり、毎日連続で飲んでいると処理が追いつかずに肝臓に中性脂肪がたまりま

② 中性脂肪の材料になる糖分の吸収を妨げる食物繊維を野菜からしっかりと取りましよう。また、野菜で食事の量を増やせば腹持ちもよくなるので、甘いものや食事の時間の調整になります。1日の野菜の目標量は350gです。朝、昼、夕食の3回に分けて食べることを意識しましょう。



上川中部北4町だれもが暮らしやすい地域づくり研修会を開催しました

# きたよん通信



1月25日(水)に比布町農村環境改善センターで、上川部北4町だれもが暮らしやすい地域づくり協議会主催の第2回研修会が開催されました。

「みんなが安心して暮らせる地域について考える」話してみよう。これからのこと」をテーマに、かたるべの輪(社会福祉法人かたるべの森の当事者の会)、ワークサポート・フレンズ、ぴっぷひだまりの会の2事業所・1団体のみなさんが活動の様子や思いを報告しました。その後、グループに分かれて当事者のみなさんと「住むところ」「仕事」「余暇」「夢」「友だち」について話し合いました。

テーマの核になっているのは、「障がい者の権利擁護(権利を守り、その思いを代弁すること)」です。これまでの福祉の取り組みは、本人の意

見を聞かずに関係者が判断して進められることが多くありました。今回の研修は、当事者の経験談や思いをうかがい、地域の方と知り合い、みんなが助け合いながら、安心して暮らせる地域をつくることを目的としています。

当日は、住民や関係機関などから51人の参加があり、アンケートから「当事者の報告はとてもよかった。もっと町民に聞いてもらえたら良かった」、「当事者を身近に感じられた」、「他の事業所の方の話も聞いてみたい」など多くの声が聞こえました。

だれもが安心して暮らせる地域づくりのために、私たちが「何ができるのか」を考えていきたいと思います。

その電話！ニセ電話かもしれませんよ！！

## 国民生活センターを名乗る ニセ電話に気をつけて！



### ◆◆相談事例◆◆

国民生活センターを名乗る人から電話があり「あなたの個人情報が漏れて、通信販売業者など3社に登録されている。名義を変更しなくてはならない」といわれ、名義を貸してくれるというNPO法人に所属する人を紹介された。

後日、その人から「震災関連の除染機械 1600万円を名義変更前のあなたの名前で購入してしまった。このままお金を払わないと、あなたも警察に捕まってしまう」といわれ、指示どおりに500万円を小包で送った。その後、心配で電話をかけたがつかない。  
(70歳代・女性)

### ◆◆消費者へのアドバイス◆◆

- 電話で国民生活センター等の公的機関をかたり、「個人情報が漏れている」などと話し、最終的にお金をだまし取る詐欺が後を絶ちません。
- 国民生活センターが「個人情報が漏れている」など

と電話をかけることは絶対にありません。相手にせず、すぐに電話を切ってください。

- お金を渡してしまうと、取り戻すことは極めて困難です。決してお金を渡してはいけません。
- 電話に出ると切りにくくなります。留守番電話機能を利用して、かかってきた電話には出ないで、必要な相手にだけ電話をかけ直す方法も有効です。
- 困ったときは、消費生活センター等へ早めにご相談ください。(消費者ホットライン188)



～誘いに乗らない、申し込まないことが肝心～

- 消費者ホットライン ☎0570-064-370
- 旭川市消費生活センター☎0166-22-8228

すぐに消費生活センターに相談しましょう

## 求人募集

町内事業所の求人募集情報をお知らせします。  
求人募集情報は町図書館玄関、農村環境改善センターロビー、比布駅で掲示しています。

### ■株式会社 荒尾

中町2丁目5-3 ☎85-2142  
□フロント係  
内容 / フロント業務  
勤務 / 17:00～22:00 (週5日程度)  
時間帯は応相談  
勤務先 / 遊湯ぴっぷ (北7線16号)  
時給 / 900円 ※交通費規定支給

### ■高齢者事業団

中町1丁目1-15 ☎85-2050  
□会員  
内容 / 清掃業務、農作業全般作業員  
場所 / 町内  
勤務 / 8:00～17:00  
資格 / おおむね60歳以上  
時給 / 業務によって異なります。

### ■町立ぴっぷクリニック

中町1丁目2-10 ☎85-2222  
□事務員  
内容 / 受付、電話対応、会計など  
給与 / 基本給15万～18万円  
□看護師・准看護師  
内容 / 医師の診察補助など  
勤務 / シフト制  
資格 / 看護師・准看護師資格  
給与 / 看護師21万～31万円  
准看護師18万～26万円  
□看護助手  
内容 / 医師・看護師の看護補助など  
勤務 / 8:30～17:15  
木・土は8:30～12:30  
資格 / 介護職初任者研修修了者が望ましい  
給与 / 13万～16万円

### ■株式会社 L E O C

旭川市9条通15丁目北商ビル3階  
☎21-3616  
□調理スタッフ  
内容 / 食事の調理、提供など  
勤務 / 6:00～15:00、9:45～18:45、  
7:30～16:30 (シフト制)  
勤務先 / ぴっぷクリニック内厨房  
(中町1丁目2-10)  
時給 / 850円

### ■比布町役場産業振興課

北町1丁目2-1 ☎85-4806  
□加工室管理人  
内容 / 農産加工室の管理業務  
勤務先 / 町農村環境改善センター内  
農産加工室  
時給 / 900円

愛別町と合同で読書感想文コンクールを開催

# 愛 LOVE ぶっくん ライターコンクール

比布町と愛別町の教育委員会が合同で「第6回愛LOVEぶっくんライターコンクール」を開催しました。

愛LOVEぶっくんライターコンクールは、小学生を対象にした読書感想文コンクールで、児童が本に親しみ、読書の習慣や文章を書くことで考える力や豊かな人間性を育むことを目的としています。

今年は何町から183名の応募があり、低学年、中学年、高学年の部門ごとに最優秀賞や優秀賞などが選ばれました。

本町からは16人が入賞し、3月10日に全校児童の前で、受賞者一人ひとりに畠伸広校長から賞状と記念品が手渡されました。

今回、最優秀賞を受賞した嶋津帆夏さんの作品を紹介します。

愛別町  
あいちゃんマン

スノーベリー



愛別町  
ほんちゃん

「小さな命」

五年 嶋津 帆夏

私は、太田京子さんが書いた、「二〇〇グラムのいのち」という本を読みました。

家で飼われているねこやいぬをはじめ、うさぎなどは、人間の勝手な都合で捨てられたり、愛護団体にあずけられたりして、さびしい思いや、つらい思いをしているペットを殺処分するのではなく、新しい家族にむかえ入れてもらおうと活動する動物愛護団体ミグノンの友森玲子さんのお話です。

この本を選んだ理由は、私は小動物が好きで、表紙のねこがかわいかったので手に取りました。しかし、読んでいくうちに、一〇〇グラムという小さな命について考えさせられました。



高学年の部  
最優秀賞

嶋津 帆夏さん

受賞の知らせを聞いたときは、びっくりしたと同時に、嬉しさのあまり、教室で泣いてしまいました(笑)。今回のコンクールをきっかけに、これからもっといろんな本を読みたいです。

玲子さんは、動物愛護団体ミグノンの一員です。玲子さんがやっている活動は、お母さんねこに代わって授乳の世話をしたり、センターに持ちこまれたおとなのねこやいぬももらい受けています。ボランティアさんにも手伝ってもらい、譲渡会を開いて、そこで里親さんが見つかるまで、世話をする活動をしています。

わたしはこの本を読んで、東日本大震災の時に保護できない家畜の牛がみぞにはまっしてしまっていて、重さが二〇キロはある肥料袋のところまでを往復して足場をつくり、

おとなの牛三頭と仔牛二頭を助け出した玲子さんの行動が思いがいちばん心に残りました。もしも、わたしが玲子さんと同じ立場だったら、自分では保護できないので、その命を見捨ててしまうのか、それとも玲子さんと同じ行動がとれるかと、そうかたんには決められません。

わたしはこの本から、人間とはちがう動物たちのいのちの大切さを学びました。これからも、家で飼っているカメを一日いちにち、大切に守っていききたいと心から思います。

## 愛 LOVE ぶっくんライター コンクール入賞者

(本町関係分・敬称略)

### ◆低学年の部

優秀賞 野内真宙  
          野成海  
          大仙桃  
          尾張静流  
          古川敦貴  
          前原亘  
佳作 嶋津帆夏

### ◆中学年の部

優秀賞 合田健人  
          田熊美和  
          田熊駿  
          漆戸生竜  
          菅生希  
          小土屋夏  
佳作 嶋津帆夏

### ◆高学年の部

最優秀賞 嶋津帆夏  
優秀賞 田熊雄斗  
佳作 菅生莉子  
          小松城優芽

ぴっぷちよう としょかん

# ぶっくんノート [4月号]



□開館時間 午前10時～午後6時

□休館日 毎週月曜日(祝日の場合は次の日)3日、10日、17日、24日

□館内整理日 26日(水)

**2 (日) よみきかせ会 (ひろがり文庫)**  
午前10:30～11:00

**21 (金) ぶっくん☆シアター (映画上映会)**  
午前10:00～

参加は無料で、  
申し込みも不要!

## 「母と暮らせば」

長崎で暮らす女性と原爆で亡くなったはずの息子が  
繰り広げるエピソードを描いた作品。

- 監督/山田洋次
  - 脚本/山田洋次、平松恵美子
  - 音楽/坂本龍一
  - 出演/吉永小百合、二宮和也、黒木華、浅野忠信、  
加藤健一 ほか
- 2015年(平成27年)日本映画。130分。

イベントやおすすめの本を  
「比布町図書館 facebook」で発信中!



**1** あなたは独りじゃない。深く、静かに  
心にしみる。人生が愛おしくなる。



「ガンカンジャ 1 空は高くいい天気なのに」  
フツ／著

実の父をがんで亡くした漫画家が描く、26歳がん患者  
の真に迫る闘病生活、そして、不思議な森を巡る魂の冒険。  
レジンコミックスで1200万PV突破! SNSで話題の  
WEB漫画が待望の書籍化。

**2** 『孤狼の血』、『慈雨』の著者、  
こんしん 渾身作!!



「合理的にあり得ない 上水流涼子の解明」  
袖月 裕子/著

不祥事で弁護士資格を剥奪された上水流涼子は、IQ  
140の貴山をアシスタントに、探偵エージェントを運営。  
「未来が見える」という人物に経営判断を委ねる二代目社長、  
賭け将棋で必勝を期すヤクザ……。明晰な頭脳と美貌を武  
器に、怪人物がらみの「あり得ない」依頼を解決に導くの  
だが――。美貌の元弁護士が、知略をめぐる鮮烈ミステ  
リー!

**3** 深いメッセージを軽妙な語り口とさわやか  
なイラストレーションで描いた作品♪



「うちってやっぱりなんかへん?」  
トール・コーヴェ/著

おしゃれすぎる家、派手なワンピース、ひげがあって  
頼りにならないパパ、そしてへんてこな自転車、エトセ  
トラエトセトラ。わたしはふつうがよかったのに――。  
1960年代の北欧ノルウェーを舞台に、めぐる季節のな  
かで悩みながら成長していく少女の姿をアカデミー短編ア  
ニメーション賞受賞監督が描きます。

# 情報満載

比布町役場 (代表)	85-2111
総務企画課	85-4801
まちづくり推進室	85-4802
税務住民課	85-4803
保健福祉課	85-4804
地域包括支援センター	85-2112
産業振興課	85-4806
建設課	85-4807
議会事務局	85-4808
農業委員会	85-4809
比布町教育委員会	85-2262
図書館	85-3354
体育館・改善センター	85-2513
保健センター	85-2555
農業対策室	85-4011
グリーンパークぴっぷ	85-2383
遊湯ぴっぷ	85-4700

## わが家の アイドル



やまなか ここな  
山中心々優ちゃん  
光是さん・准子さんの長女  
(3歳1か月・緑町)

お店やさんごっこやお歌を歌うのが大好き!! 今日は何のお店やさんにしようかな? 大合唱もしちゃおーっと♪ みなさんよろしくね◎

みなさんのご家庭のかわいいアイドルをご紹介ください。最近の写真とコメントを添えて、役場総務企画課広報係にお寄せください。写真はカラー・白黒を問わず、Eメールでの投稿もお待ちしております。宛先は裏表紙をご覧ください。

### お知らせします

小学生から高校生までの  
就学を支援します

町では低所得世帯などを対象に、お子さんの就学を支援しています。

4月からは、高校に就学するお子さんに対しても月額5千円を支援します。詳しくは、今月号の折込をご覧ください。

### 問い合わせ

教育委員会学校教育係

### 参加者募集のお知らせ

散歩道整備ボランティア

突峭山は、さまざまな野草を楽しむことができ、中でも

カタクリの群生は日本最大級ともいわれています。

今シーズンも多くの方が気持ちよく散策が楽しめるよう、ボランティアを募り、カタクリなどの開花前に散歩道の整備作業を行います。みなさんのご協力をお願いします。

■日時 ■4月22日(土) 午前9時(雪解けの状況で日程を変更する場合があります)

■集合場所 ■村上山公園駐車場

■作業内容 ■笹刈り、枝切り、ごみ拾いなど

■持ち物 ■プラスチックカップ、のこ(お持ちの方のみ)

■服装 ■長靴、軍手など作業

のできる服装

■申込締切 ■4月19日(水)

■申し込み・問い合わせ ■

役場まちづくり推進室地域政策係



### 申し込みのお知らせ

農産加工室5月利用分

5月1日から31日までの間に、改善センター農産加工室の利用を希望する方は、5人以上のグループで、加工品目と数量をまとめてお申し込みください。

■締切 ■4月10日(月)

■抽選会 ■4月17日(月) 午前9時30分から福祉会館

■申し込み ■

役場産業振興課特産振興係

お知らせします

町営住宅入居者のみなさん  
申請を忘れずに

▼住宅使用料の減免

毎年3月に入居者あてに送付している『収入認定通知書』中、1か月の認定収入月額が0円の場合は、家賃の10分の1を減免することができます。

ただし、収入を認定する場合には、仕送り、養育費、非課税所得の遺族年金、老齢福

祉年金、遺族給付恩給、給付金も所得金額とみなすため、基準に合わない場合は、減免の対象になりません。

減免の対象となるかは、住宅管理係で確認しますので、お問い合わせください。

▼同居親族等の入居・退去について

町営住宅の入居者は、同居人の異動があるときは必ず届け出をしてください。特に、新たに親族が同居するときは、住民票等の異動をする前に町長の承認を得なければなりません。

収入等の基準があり、同居ができないことがありますの



## 受付は4月から 学生の方は 「学生納付特例制度」



学生本人の前年の所得が一定額以下であれば、市町村の窓口  
に申請し、承認を受けると国民年金保険料の納付が猶予されま  
す。

申請が遅れると「障害基礎年金」などが受けられない場合が  
ありますので、手続きはお早めに。

### 手続きに必要なもの

- 年金手帳または基礎年金番号のわかるもの（納付書など）
- 申請年度有効の学生証（コピーの場合は両面）または、  
在学証明書原本
- 印鑑

**平成 26 年 4 月から免除申請期間が拡大しています。  
過去に学生納付特例の申請をお忘れの方は、手続きを！**

過去の学生納付特例を受ける場合は、申請期間をご確認ください。  
平成 29 年 4 月中に申請する場合は、下表を参考にしてください。

### 【学生納付特例の申請可能期間と前年所得の関係】

年度	学生納付特例の申請可能な期間	審査対象となる 前年所得
26 年分	平成 27 年 3 月	平成 25 年中所得
27 年分	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	平成 26 年中所得
28 年分	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	平成 27 年中所得
29 年分	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月	平成 28 年中所得

### 平成 29 年度国民年金保険料

(平成 29 年 4 月から)  
第 1 号被保険者 月額 **16,490 円**

★国民年金保険料は忘れずに納めましょう★

- 問い合わせ ■ 役場税務住民課戸籍年金係 ■
- 旭川年金事務所 ☎ 27-1611 ■

で、必ず事前に住宅管理係で  
手続きを行い、同居承認通知  
後に住民票の異動や引越しま  
どの手続きをしてください。

■ 問い合わせ ■  
役場建設課住宅管理係

いつでもご参加ください  
稼ぐ力をつける講座

町では、マーケティングの

手法を用いて楽しみながら  
「稼ぐ力」をつける講座を毎  
月開催しています。

自分の会社や地域の良さを  
知り、新たな価値を生み出し  
ませんか。ぜひ、ご参加く  
ださい。詳しくは、今月号の折  
込をご覧ください。

■ 対象 ■ 町民、町内の事業所、  
団体で働いている方

■ 日程 ■ 4 月 23 日（日）、5

月 21 日（日）、6 月 18 日（日）、  
7 月 30 日（日）、8 月 20 日（日）、  
9 月 24 日（日）、10 月 29 日（日）  
※以降は決まり次第お知らせ  
します。

■ 時間 ■ 午後 1 時～6 時  
■ 場所 ■ 福祉会館大講堂  
■ 参加料 ■ 無料

■ 問い合わせ ■  
役場まちづくり推進室地域  
政策係

報告します  
比布町個人情報保護審査会が  
開かれました

平成 29 年 3 月 16 日に比布町  
個人情報保護審査会が開かれ  
ました。

民生委員児童委員への比布  
町の保有する個人情報の提供  
が承認されました。

■ 問い合わせ ■  
役場総務企画課情報管理係

### まちの人口（2月末現在）

総数	3,810 人	(-9)
男	1,794 人	(-6)
女	2,016 人	(-3)
世帯数	1,818 世帯	(-4)

※住民基本台帳登録数  
( ) は対前月増減数

税務住民課の窓口では、  
本人確認書類（運転免許証、  
マイナンバーカード等）の  
提示をお願いしています。  
なりすましや第三者から  
の不正な届出、請求を防止  
するため、みなさまのご協  
力をお願いします。

◆お悔やみ申し上げます◆  
(氏名・享年・行政区)

阿部寿美恵さん	90 歳	(東町)
明田 峯子さん	80 歳	(東町)
木村 芳孝さん	80 歳	(寿町)
菅原 永吉さん	80 歳	(1 区)
川上 典興さん	88 歳	(西町)

戸籍のまど  
(3月15日までの届出)

※了承をいただいた方のみ掲載して  
います。

お知らせします

農業委員会だより

次の議案が審議され、承認されました。

第32回総会（1月20日開催）

◎農地法第3条の規定による許可申請

1件 105、452㎡

◎農用地利用集積計画の決定

10件 324、598㎡

◎農用地の買入協議に係る要請

1件 48、852㎡

第33回総会（2月20日開催）

◎農地法第3条の規定による許可申請

2件 94、693㎡

◎農用地利用集積計画の決定

9件 341、890・68㎡

◎農用地利用配分計画案（利用権設定）

1件 1、432㎡

身体に障がいのある方の

自動車税の軽減制度が変わります

今年4月から自動車税の課税免除制度が減免制度に変更になりました。

なお、現在、自動車税の課税免除を受けている方は、減免として継続され、手続きは

不要です。

また、車検月の2か月前に現況確認書と納税証明書を送付しますので、使用状況などを記載して必ず提出してください。

■減免申請期限■

□自動車取得税 自動車の登録日の2か月後まで

□自動車税 自動車税納税通知書納期限（5月31日）。ただし、年度途中で減免要件に該当する方は、その該当日の2か月後まで

□減免自動車の入れ替え 自動車の登録日の2か月後まで

■問い合わせ■

札幌道税事務所自動車税課

税課

☎011・746・1194

協会けんぽから

保険料率改定のお知らせ

今年3月分（5月1日納付期限分）から健康保険料率は10・22%（プラス0・07%）、介護保険料率は1・65%（プラス0・07%）となります。厳しい経済状況の中ですが、ご理解をお願いします。

▼健診のご案内

協会けんぽ北海道支部では

年度内に1回、加入者のみなさんの健診費用の一部を補助しています。

35歳から74歳までの被保険者（本人）へは、がん検診を含めた充実した健診項目の「生活習慣病予防健診」を、

40歳から74歳までの被扶養者（家族）へは、メタボリック

シンドロームに着目した「特定健康診査」と2つの健診を用意しています。

生活習慣病の予防と早期発見、早期治療のためにも年に一度は健診を受けましょう。

■問い合わせ■

全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部

税課

☎011・726・0352

まちの話題をPR

みなさんからの情報提供をお待ちしています

広報係では町内のイベントやまちの話題を広報紙をはじめ、ホームページなどインターネットを活用して広く紹介しています。

これからもより一層、比布町を町内外に広く紹介・PRをしていきますので、みなさんからの情報提供をお願いします。

■お問い合わせ■

役場保健福祉課衛生係 TEL 85 - 4804

## 狂犬病予防注射を受けましょう

犬の登録受付と狂犬病予防注射を行います。最寄りの場所で受けてください。

【狂犬病予防注射】狂犬病予防法により、生後91日以上の犬は年1回必ず受けさせなければなりません。

■日時・場所 右表のとおり

■手数料（1頭につき） 3,110円

※料金は、釣り銭のいらないようにご用意ください。

【飼い犬の登録】生後91日以上の犬は登録手続きが必要です。まだ登録手続きをしていない方は、必ず登録手続きをしてください。

■手数料（1頭につき） 3,000円

【注意事項】

- ①鑑札と狂犬病予防注射済票は、犬の首輪などに必ずつけてください。
- ②飼い犬が死亡したときや飼い主が住所変更した際には、役場に届け出をしてください。
- ③町外の動物病院などで狂犬病予防注射を受けたときは、病院で発行された予防注射済証を持参のうえ、役場で狂犬病予防注射済票の交付手続きをしてください。（1頭につき550円の手数料がかかります）

■問い合わせ ■役場保健福祉課衛生係 TEL 85 - 4804

4月21日(金)	
場所	時間
4区会館前	9:00～9:15
南分館前	9:25～9:45
7区会館前	9:55～10:10
15区会館前	10:20～10:30
東園地域センター前	10:35～10:55
11区会館前	11:05～11:15
5区会館前	11:25～11:40
17区会館前	13:10～13:25
19区会館前	13:30～13:40
20区会館前	13:50～14:15
21区会館前	14:20～14:35
蘭留コミュニティ消防センター前	14:40～15:00

4月22日(土)	
場所	時間
役場総合車庫前	9:00～11:40 13:00～15:00

# 広報 びっぷ

5月号は5月2日発行予定です

ストップ・ザ・交通事故死

～めざせ 安全で安心な北海道



春の交通安全運動

4月6日(木)～15日(土)

## 4月の行事予定

- 6(木) 保健推進員会議  
10:00 保健センター  
中央小学校入学式・始業式  
10:00 同校  
比布中学校入学式・始業式  
13:00 同校
- 7(金) 婦人会連絡協議会総会  
10:00 福祉会館(大講堂)
- 8(土) びっぷの自然たんけん隊  
9:00 福祉会館出発
- 10(月) 防犯協会役員会・総会  
17:00 福祉会館
- 11(火) 民生・児童委員協議会総会  
16:30 役場(第1・2会議室)
- 14(金) 第35回農業委員会総会  
16:30 役場(議場)
- 17(月) 自衛隊協力会役員会総会  
17:00 福祉会館
- 22(土) びびの路整備作業  
9:00 村上山公園駐車場
- 24(月) 交通安全協会役員会・総会  
17:00 福祉会館
- 25(火) 白寿大学入学式・始業式  
9:45 福祉会館(大講堂)  
比布中学校修学旅行 ～28日  
東京方面
- 26(水) 交通安全網の目ローラー作戦  
10:00 蘭留トラックスケールほか

※変更になる場合がありますので、無線放送などにご留意ください。

### 本多友子 比布町出身!

#### メゾソプラノコンサート

荒城の月、早春賦などの日本歌曲のほか、ヘンデルのオペラ曲など多彩なラインナップ。味のあるメゾソプラノの歌声をお楽しみください。

**4月21日(金) 開演 14時**  
三浦綾子記念文学館 1階ホール

旭川市神楽7条8丁目2-15 ☎69-2626

入館料: 大人500円、高校・大学・中学・小学生300円



▼広報広聴活動における個人情報の取り扱いについて  
町では、広報紙などの発行や記録、情報収集のため、個人を特定できる取材や写真・動画撮影を行っています。  
取材や撮影を行うときは、担当職員が赤地に白く「比布町」と書かれた腕章を着用しています。  
なお、取材などで得た資料は、次の利用目的の範囲で使用します。  
■町の刊行物 広報紙・パンフレット・ケーブルテレビ・インターネット(ホームページ)

私たち広報係が撮影します!  
また、他の職員が撮影することもありますので、ご了承ください。



(写真左から) 広報係 藤原・尾張

役場まちづくり推進室広報係  
■各種資料としての活用  
■その他の目的 報道提供・広告・出版物・ポスター  
■問い合わせ  
ジ・ユーチューブ・フェイスブック・ツイッター) など

### 4月から アパート入居

## 家賃<sup>月額</sup>1万円補助します

年度末に1年分をまとめて返金!

■対象(平成29年4月1日現在)

- ① 45歳以下の単身者世帯
- ② 平均年齢が45歳以下の夫婦がいる世帯
- ③ 中学生以下の子どもがいる世帯

※平成29年4月～32年3月まで

※町内会加入が条件です

※公務員、独立行政法人の職員は対象外です

■対象アパート



ヴェールラルテ(緑町)



アルピオ(新町)



メゾン宮の杜(新町)

助かるく!



### 家を建てたい・買いたい人も安心!

宅建協会旭川支部に加盟する不動産事業者が取り扱う物件を購入し、実際に住み始めたときに

◆中学生以下のお子さん一人につき

**50万円**プレゼント(最大3人・150万円まで)

◆町内で使える商品券

**10万円分**プレゼント

◆媒介報酬(仲介手数料)

**5万円**まで補助

■問い合わせ ☎85-4802

役場総務企画課まちづくり推進室地域政策係

3月17日  
中央小学校卒業式  
卒業生 25人



卒業の日を迎え、中央小学校、比布中学校では、希望に満ちた笑顔を輝かせた卒業生が新しい生活に向けて元気に羽ばたいていきました。

## 二十歳の君へのメッセージ

二十歳の自分にあて、小学6年生は手紙、中学3年生はビデオレターを撮影しました。

未来の自分へのエールやメッセージ、今の自分の思いが込められた手紙とビデオは成人式で鑑賞します。自分が比布町で育ったことを忘れず、家族や友だち、ふるさとを、いつまでも大切にしてほしいと願っています。



3月14日  
比布中学校卒業式  
卒業生 31人



3月9日、中学3年生が作詞作曲した「びっぶイメージソング」の動画を撮影しました。今後、まちのPRに活用します。

## 健康生活

### 脳梗塞⑤

脳梗塞の後遺症は、血流が妨げられ、組織が壊死した箇所や治療までの時間によって、重さが変わります。

代表的な後遺症には、感覚障害・視覚障害・言語障害の3種類があります。

#### ■感覚障害

「片まひ」と呼ばれ、体の左右どちらかにまひが残る運動まひです。運動機能に関する脳の左側が壊死した場合は右側、右側の壊死であれば左側というように左右反対側にまひが残るのが特徴です。

この障害は、自立歩行などある程度の日常生活ができる軽度なものから、一人での日常生活は難しいものまで、人により状態は様々です。

#### ■視覚障害

視覚中枢部分に壊死が起こると、失明や視力の低下といった障害が残ります。

#### ■言語障害

言葉が出てこなく、会話がうまくできない、酔っている時のようにろれつが回らない、また、喉の筋肉が動きづ

らく声が出にくいなど、構音障害や失語症といったかたちで残る障害です。

#### ■その他の後遺症

##### ◆知的障害

脳の知的中枢が壊死した場合に起こります。文字の読み書きができなくなる、尿意を感じなくなり失禁してしまう、といった症状が現れます。

##### ◆情緒的障害

前頭葉・側頭葉に壊死が見られた場合、気力が著しく低下する、記憶が困難になる、情緒が不安定になり感情を制御できなくなる等の症状がみられ、うつ病や不眠、認知症などにも繋がるおそれがあります。

脳梗塞による後遺症は、それまでの日常生活だけでなく、その人自身の人格すら大きく変えてしまう可能性を含んでいるといえます。

びっぶクリニックでは、消化器（胃・大腸）痔・乳がん・腹腔鏡下胆のう摘出術等を行っています。また、土曜日（月2回）、旭川医大血管外科の医師が診療をしています。

町立びっぶクリニック

院長 加藤一哉

上川総合振興局森林づくりコンクール

## 優秀賞に杉山寅雄さん

平成28年度上川総合振興局森林づくりコンクールの優秀賞に、杉山寅雄さん（15区）が選ばれました。

このコンクールは、適正な森林整備で地域の模範となる森林づくりを行っている森林所有者を表彰しています。

杉山さんは建築用材に使われるトド松など良質材の生産のために、つる切りや枝打ち、下草刈などの作業を農業の合間に行い、また、農閑期の11月以降は山を巡回して、風で倒れた木などをチェーンソーを使って自ら整理するなど、きめ細やかな森林管理に努めています。

なお、本コンクールの受賞とあわせ、旭川市森林組合模範組合員緑褒章も受賞されました。



有限会社遠藤農産のまいたけ

## 林野庁長官賞を受賞

有限会社遠藤農産のまいたけが、「第13回北海道きのこ品評会」（北海道きのこ生産・消費振興会主催）で最優秀賞を受賞しました。

この品評会は、きのこの生産技術の向上と消費拡大を目的としたもので、鮮度や色形などを総合的に審査し、入賞作品が選ばれます。

昨年に引き続き、最優秀賞の受賞となり、今年はその中でも最も上位に当たる林野庁長官賞に選ばれました。

同社でまいたけの生産を担当している遠藤亮さんは「とてもうれしい。これからも質の高いまいたけを生産し、この良さを多くの人に知ってもらいたい」と話しました。なお、遠藤農産で生産しているきのこは、比布駅内ピカフエ比布駅で販売、また「まいたけピザ」として提供されています。ぜひ、ご賞味ください。



ふるさと比布の思い出話に花が咲く

## 旭川比布同郷会が総会を開催

3月12日、旭川近郊に住む比布町出身者で構成する旭川比布同郷会（合田春夫会長）の第64回総会と懇親会が旭川市内で開かれ、会員90人が出席しました。

合田会長は、「ふるさと比布町の益々の発展を願うとともに、交流を深めてほしい」とあいさつ。伊藤町長は「これからもふるさと比布町への力添えをお願いします」と祝辞を述べました。

懇親会では抽選会やカラオケなどが行われ、参加者は近況などを語り合いながら、楽しいひとときを過ごしました。



オアシスメモリーパークを除雪

## 商工会青年部がボランティア

比布商工会青年部（大熊勝幸部長）が、市街地十字街にあるオアシスメモリーパークの除雪作業を行いました。

同部では社会福祉事業として、毎年ボランティア活動を行っています。今年は部員9人が参加し、スコップや重機を用いて広場に積もった雪を取り除きました。作業に際し大熊部長は、「街の中心部



で、多くの人や車が通行する場所。地域の方々に安心して安全に通ってもらえれば」と話しました。

# ヒーロー HERO みんなが ヒロイン HEROINE

※○内の数字は順位（敬称略）  
町内関係者のみ

このコーナーでは、スポーツや文化活動などの話題を紹介します。みなさんからの情報をお待ちしています。新聞などに掲載された情報も掲載しています。

- ◆平成28年度林野火災予防作品  
【標語】 入選〓 牧由貴花  
【ポスター】 入選〓 古川璃乃
- ◆第187回卓球競技春光大会  
(1月22日・鷹栖町)  
【個人】 ▽8部②磯部美咲
- ◆卓球少年団当麻大会  
(2月12日・当麻町)  
【男子】 ▽団体②比布A▽個人①山田蓮③浅野和哉  
【女子】 ▽団体②比布▽個人②山田玲華
- ◆2月室内パークゴルフ大会  
(2月14日・いちごアリーナ)  
【男性】 ①大古場秀雄②橘昭③鎌田佳宣  
【女性】 ①橘満子②水内順子③尾崎誠子

- ◆大雪山フラワーパークパークゴルフ大会  
(2月16日・大雪山フラワーパーク)  
【男性】 ①大古場秀雄②歳桃芳美③田中修  
【女性】 ①尾崎誠子②水内順子③大古場榮子

- ◆第21回TSP杯争奪ダブルスレディース卓球大会  
(2月17日・旭川市)  
【Bブロック】 ①磯部美咲

- ◆中学生学年別卓球大会  
(2月25日・旭川市)  
【男子】 ▽1年②中谷光希▽2年②平岡稜真  
【女子】 ▽1年①有岡紗希

- ◆美幌ランキング卓球大会  
(2月26日・美幌町)  
【中学女子】 ▽個人①有岡紗希▽ダブルス③有岡紗希

## ◆防犯剣道大会

- (2月28日・町青少年会館)  
【小学2・3年生の部】 ①寒河江朔丸②小菅生竜摩③漆戸駿  
【小学5・6年生の部】 ①寒河江思子②堺七虹③小菅生莉子  
【中学生の部】 ①久保田颯

- ◆第18回フリースタイル王決定戦  
(3月4日・遠軽町)  
【ワンメイク上級者クラス】  
②池田良平

- ◆第37回小林杯争奪対抗卓球大会  
(3月5日・留萌市)  
【団体】 ▽女子A①磯部美咲

- ◆大雪山フラワーパークパークゴルフ大会  
(3月9日・大雪山フラワーパーク)  
【男性】 ①田中修②渡邊作治③大古場秀雄  
【女性】 ①大古場榮子②大河弘子③水内順子

## ◆町民バドミントン大会

- (3月12日・町体育館)  
【男子ダブルス】 ▽2部①望月弘・工藤竜樹  
【女子ダブルス】 ▽1部①菊池佳澄▽2部②内沢栄代子・

## 内沢義治

- 【ミックスタブルス】 ▽1部②菊池佳澄▽2部③奥野聖奈

- ◆第15回卓球スポーツ少年団卓球大会  
(3月14日・町体育館)  
【6年生の部】 ①浅野和哉②松岡賢太郎③中田小百合  
【5年生以下の部】 ①山田蓮②山田玲華③菅原啓汰

- ◆管内中学生ソフトテニス大会  
(3月19日・当麻町)  
【女子】 ②佐藤菜桜・山田萌華

- ◆全町シングルス卓球大会  
(3月19日・町体育館)  
【男子】 ①中谷光希(中学生)  
②川島真(一般) ③蒲生聖和(高校生)、橋口稜世(高校生)  
【女子】 ①有岡紗希(中学生)  
②三浦鈴花(中学生) ③大西信子(一般)、山田玲華(小学生)

- ◆第48回町民スキー大会  
(3月19日・びっぐスキー場ほか)  
【チャレンジ継走競技】 ①比布町歩くスキー同好会B(山川英祐・菅原孝彦・酒向栄一)  
②比布中野球部GHS(瀬川明日香) ③比布町歩くスキー

同好会A(宮木功・五十嵐義秋・藤本實)

【大回転競技・スキー】 ▽小学校低学年女子①菅野雛音②菅野未夢③橘内美心▽小学校低学年男子①小菅生竜摩②村上祐基③勝見洸太▽小学校高学年女子①小菅生莉子②北山心愛③古川璃乃▽小学校高学年男子①勝見颯斗②合田健人③藤本哲己▽中学生女子①土屋美沙希▽一般男子A①定岡伸之②宮町岳志▽一般女子B①小菅生恭子②金子裕子▽一般男子B①勘崎貢司②藤本敏之③渡邊貴弘▽一般男子C①牧亮男②金子敏夫③宮武秀夫  
【大回転競技・スノーボード】 ▽小学生男子①橘内陽生②橘内幸希▽一般男子①福地正嗣②土屋秀和  
【大回転競技・スノースケート】 ①福地正嗣②浅野仁志③村上博昭  
【ヘアスキー競技】 ①合田健人・合田一広②藤本哲己・藤本敏之③小菅生莉子・小菅生恭子



まちの話や情報など、身近なニュースを広報係にお知らせください。



▼子ども体験教室「エアボード体験」を太田山で開催。参加した小学生ら22人は真っ白な雪の斜面を大滑走し、冬を楽しみました。

2.25 エアボード体験教室  
in 太田山



▼田園交流推進会議がおにぎらず作り交流会を開催。比布の特産品を使ったおにぎらずやお吸い物などを味わい、交流を深めました。

2.25 ジャムやねぎを使ったおにぎらず



▼ピピカフェ比布駅が東日本震災の復興を応援。震災を機に移住したチーフズ職人の作るチーズや東北地方の日本酒を味わいました。

3.10 比布駅で復興応援イベント



▼生き方や逝き方について意思決定することの大切さを考える講演会が開かれ、旭医大阿部医師から話し合いの大事さを学びました。

3.1 生き方 逝き方講演会話し合いが大事



ふじおか だいすけ  
主事 藤岡 大輔  
産業振興課  
農政係兼林務係兼特産振興係

比布町のために精一杯がんばっていきたく思います。よろしくお願いします。



たてさき ゆき  
主事 館崎 有希  
教育委員会生涯学習課  
社会教育係兼総務係兼図書館係

比布町職員として明るく笑顔で精一杯がんばりますので、これからよろしくお願いします。



あらい りょう  
主事 新井 遼  
総務企画課  
生活安全係兼庶務係

4月から比布町職員として、そして比布町民としてがんばります！よろしくお願いします。



きむら かずま  
主事 木村 和真  
大雪浄化組合  
施設係兼庶務係

比布町の職員としてこれから精一杯がんばります。よろしくお願いします。



やまだ こうだい  
係 山田 晃大  
大雪消防組合  
比布消防署警防係

早く仕事を覚え、少しでも比布町のみなさまの力になれるよう精一杯がんばります。



福島 忠章  
(大雪浄化組合施設係長)



信濃 和子  
(保健福祉課主幹)



長谷川 敏幸  
(大雪消防組合比布消防署長)

新規採用職員（4月1日付）

よろしくお願ひします

4月1日付けで採用された新規採用職員と、3月31日付で退職された職員を紹介します。なお、人事異動については、行政機構図を今月号の広報紙に折り込んでいますのでご覧ください。本年度も町政にご理解とご協力をよろしくお願ひします。

町職員の新規採用・退職

退職職員（3月31日付）

お世話になりました



## 風呂はゆうゆうが一番

# 生涯現役 な人

高橋 トシ<sup>さん</sup>  
(93歳・13区)

### Profile

大正11年生まれ、比布出身。東園小学校卒。長年にわたり、農業に従事する。週に2日、お弁当を持って、遊湯びっぷに通うのが習慣。



このコーナーは、生涯現役で活躍している町内の高齢者を紹介します。みなさんからのご紹介もお待ちしておりますので、役場総務企画課広報係までご連絡ください。

にこやかな表情で話すのは、13区の高橋トシさん。昔から体が丈夫で、病気もほとんどしたことないという高橋さんは、93歳となった今も、つえを使うことなく、自分の足ですいすい歩く、元気いっぱいの方です。

食欲も旺盛で、食べ物の好き嫌いも一切無いという高橋さんの大好物は「野菜の漬物」。最近まで、自宅横のハウスで、ナスやキュウリを育てては、漬物作りを楽しんでいたほどです。

また、高橋さんには、健康の秘訣があります。それは「お風呂」。10年以上も前から、週に2日、自宅前からバスに乗って、遊湯びっぷに日帰り入浴に通うのが習慣となっています。数あるお風呂の中でも、高橋さん一番のお気に入りには「薬湯」。一度入ると、ひざや腰の疲労がとれて、とても楽になるのだといいます。

「遊湯びっぷに通うようになってから、友だちも増えたり、楽しみができた」と高橋さん。「これからも健康に気をつけて生活したいね」と笑顔で語られました。

広報びっぷ 4月号 No.703  
2017(平成29)年4月5日

- 発行 比布町
- 編集 総務企画課まちづくり推進室広報係  
〒078-0392  
北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号  
☎0166-85-2111(代表)  
0166-85-4801・4802(総務企画課直通)
- ホームページ  
<http://www.town.pippu.hokkaido.jp>
- Eメール  
[ichigo@town.pippu.hokkaido.jp](mailto:ichigo@town.pippu.hokkaido.jp)

### ■表紙のことば■

3月14日、比布中学校(田澤満校長)で第70回卒業証書授与式が同校体育館で行われ、31人の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。別れの集いでは、3年間の思い出が詰まったスライドが上映され、全校生徒による合唱に涙をこらえきれなくなった卒業生たち。在校生に見送られ、新たな決意と希望を胸に学び舎を巣立っていきました。

